

文化財発掘Ⅲ

—激動の幕末と京大キャンパス—



熊野構内出土瓦

関連講演会

第1回 2017年3月25日(土) 午前10時～11時30分

内記 理 (京都大学文化財総合研究センター助教)

「考古資料からみた幕末の京大キャンパス」

笹川尚紀 (京都大学文化財総合研究センター助教)

「文献史料からみた尾張藩吉田邸・土佐藩白川邸」

(第1回は展示解説もおこないます)

第2回 2017年4月8日(土) 午前10時～11時30分

千葉 豊 (京都大学文化財総合研究センター准教授)

「幕末のやきもの・蓮月焼について」

宮川禎一 (京都国立博物館上席研究員)

「幕末の動乱と坂本龍馬」

※場所はいずれも総合博物館本館3階 講演室

参加費：無料 (ただし、博物館への入館料は必要)

定員：80名 (事前申込制・先着順)

申込方法：官製ハガキ、Fax、E-mailのいずれかで、

「文化財発掘 第__回講演会」と題記のうえ、

お名前・年齢・ご連絡先(電話番号)を明記

して総合博物館までお申込ください。

2017年2月15日[水]—4月16日[日]

9時30分—16時30分 (入館は16時まで)

休館日：月曜日・火曜日 (平日・祝日かかわらず)

観覧料：一般400円 高校生・大学生300円 小学生・中学生200円

*20名以上の場合は団体観覧料が適用されます。

*障害者手帳をお持ちの方とその付き添いの方1名、70歳以上の方は無料 (要証明証)

主催：京都大学総合博物館・京都大学文化財総合研究センター



京都大学総合博物館

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

TEL (075)753-3272 FAX (075)753-3277

info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp

http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/

文化財発掘Ⅲ

—激動の幕末と京大キャンパス—

京都大学文化財総合研究センターは、前身の埋蔵文化財研究センター時代を含め、35年以上にわたって、京都大学構内の地中に残される埋蔵文化財を調査し、分析をおこなってきました。そして、文化財の保管や活用方法の検討を通じて、それらの総合的な研究を実践しています。これまでに構内で発掘調査した遺跡は、延べ100,000㎡におよびます。

調査成果の中で、今回の特別展でとりあげるのは、幕末という激動の時代にかかわるものです。私達が学問や研究にいそしむ建物のすぐ下には、約150年前の幕末に形成された痕跡がひろがっています。これまでの調査で、構内には土佐藩邸と尾張藩邸に関連する遺構が残されていることが分かってきました。堀や水路の発見により、藩邸の構造や、当時と現在の土地区分がどのような関係をもつかが明らかになりつつあります。また、2015年に熊野構内でおこなわれた発掘調査では、徳島藩邸にかかわる可能性の高い遺構が見つかりました。幕末における京都の動向を考える上で重要な資料になるのではないかと、注目を集めています。

この特別展が、京都大学吉田キャンパスの地中にも歴史を考える上で重要な文化財が眠っていることを知っていただく機会となれば幸いです。



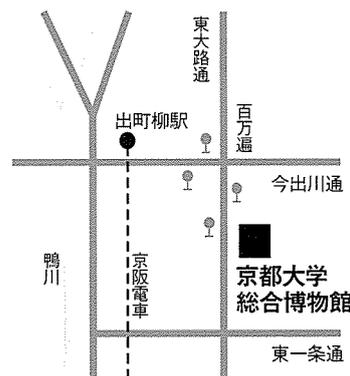
尾張から運ばれた御小納戸茶碗
(本部構内出土)



尾張藩邸の水路(本部構内)



徳島藩邸に関係すると考えられる瓦積(熊野構内)



交通機関

●市バス

- JR / 近鉄京都駅から 17・206 系統
- 阪急河原町駅から 3・17・31・201 系統
- 地下鉄烏丸線今出川駅から
201・203 系統
- 地下鉄東西線東山駅から
31・201・206 系統
- 「百万遍 (ひやくまんべん)」
下車徒歩約 2 分

●京阪 「出町柳」 駅下車徒歩約 15 分

※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。